

社内標準



管理基準： 一般顧客用

(技術標準)

日本エー・エム・ピー株式会社

取付適用仕様書

114-5078

アンプ ウルトレックス 2.5 及び 2.54 シリーズ
圧接コネクタの結線条件

1. 適用範囲

本規格は、アンプ ウルトレックス 2.5 及び 2.54 シリーズ圧接コネクタの結線の必要条件について規定する。

この条件は、結線が手動工具又は自動機による場合の双方に適用され、使用される電線の種類、サイズ等は下記に示す範囲のものとする。

適用電線	種類：	PVC 電線				
	サイズ：	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>AWG#28 (0.08~0.09 mm²)</td> </tr> <tr> <td>AWG#26 (0.12~0.15 mm²)</td> </tr> <tr> <td>AWG#24 (0.20~0.22 mm²)</td> </tr> </table>	{	AWG#28 (0.08~0.09 mm ²)	AWG#26 (0.12~0.15 mm ²)	AWG#24 (0.20~0.22 mm ²)
	{	AWG#28 (0.08~0.09 mm ²)				
		AWG#26 (0.12~0.15 mm ²)				
AWG#24 (0.20~0.22 mm ²)						
導体構成：	錫コーティング撚線，単線（錫めっき付） 7本撚線（錫めっき付）					
被覆外径：	0.88~1.56 φ					

					作成： 4/19 '83 藤田	分類： 取付適用仕様書
C	改訂	RFA-1119	4/30	2/1 '87	検閲：	コード： 114-5078
B	改訂	RFA-1055	4/30	2/22 '86		
A	改訂	RFA-677	4/30	2/30 '83		
0	作成	RFA-628	4/30	N. Dave 2/19 '83	承認：	名称： アンプウルトレックス 2.5 及び 2.54 シリーズ圧接コネクタの結線条件
改訂	改訂記録		作成	検閲	承認	
配布	昭和 58 年 1 月 10 日 制定			5 頁中 1 頁		尾上 4/21 '83 (代 藤田)

2. 部品名称

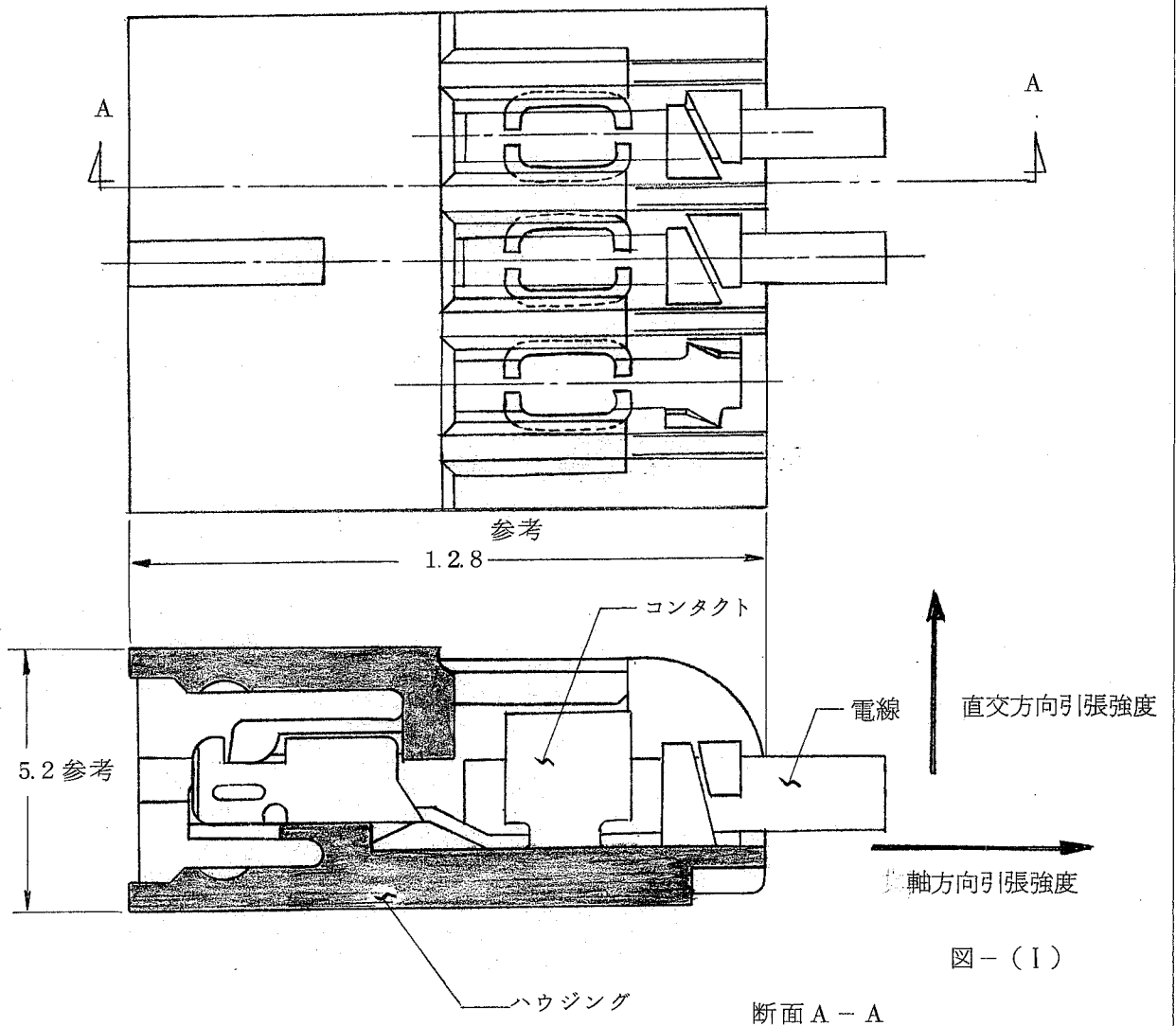


図 - (I)

3. 必要条件

結線後の寸法，性能及び外観上の必要条件を規定する。

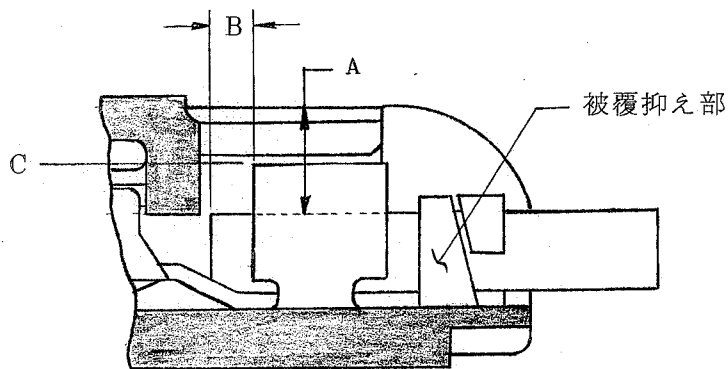


図 - (II)

3.1 結線状態

3.1.1 電線挿入深さ

電線の挿入は電線サイズ及び絶縁被覆外径とは関係なく，図-(II)-Aに示したハウジング上端から電線被覆上の工具圧痕部までの寸法は，1.9~2.5 mmの範囲内であり，ノギスで測定のこと。

3.1.2 電線突出し長さ

結線された電線の先端部突出し長さは図-(II)-Bに示したコンタクトスロット部と電線端までの長さは，0.5 mm以上であること。また電線端末の被覆及び芯線は図-(II)-Cに示した位置より上に出ないこと。

3.1.3 被覆抑え

結線された電線は，図-(II)に示したインシュレーションバレルで抑えられていること。(図-III参照)

担し，被覆の太い電線はインシュレーションバレルの一部が被覆に食い込むが，中心導体に対する断線があってはならない。

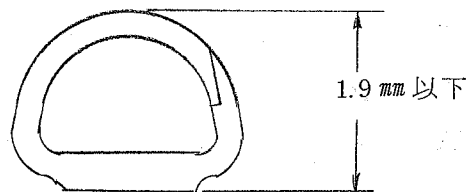


図-(III)

3.2 外観

3.2.1 電線

圧接された電線は，結線部を除いたその被覆外径部に機能上及び性能上支障となるような切り傷等の損傷の形跡が認められてはならない。

3.2.2 ハウジング

結線を終了したコネクタは，ハウジングに機能上及び性能上支障となるような損傷の形跡が認められてはならない。

分類： 取付適用仕様書	標準の名称： アンプウルトレックス2.5及び 2.54シリーズ圧接コネクタの結線条件	標準のコード： 114-5078	改訂	3頁
			C	5頁中

3.2.3 コンタクト

結線を終了したコネクタは、コンタクトの結線部に圧接工具による損傷の形跡が認められないこと。

又、コンタクトの被覆抑え部については板厚の $\frac{1}{3}$ を越える圧接工具による損傷の形跡が認められないこと。

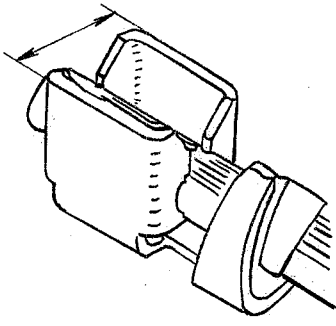
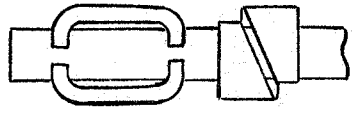

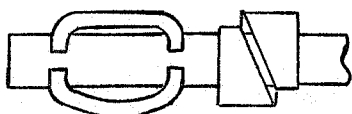
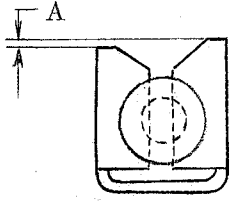
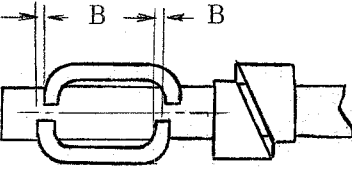
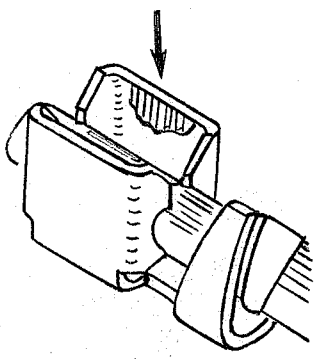
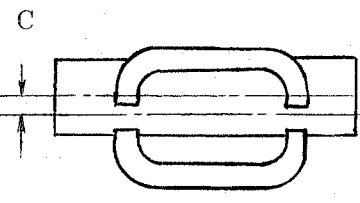
3.3 電線引張強度

圧接された各々の電線サイズの電線引張強度は図に示した軸方向荷重及び垂直方向荷重の各々に対して下表の規定値を満足すること。

電線サイズ	軸方向 (kg以上)	直交方向 (kg以上)
AWG #28	1.5	1.0
AWG #26	2.5	1.5
AWG #24	3.5	1.8

4. 圧接状態判定基準

4.1 コンタクト変形状態

No.	項目	必要条件	許容可否	外観	内容
1		平行であること。	○		
			×		内側に変形 (片側及び両側)
			×		外側に変形 (片側及び両側)
2		スロット部が左右段違いにならないこと。	○	各スロット部(2ヶ所)の左右の段違いが、 $A \leq 0.3$ であること。	
			×	$A > 0.3$	
3		スロット部が前後段違いにならないこと。	○	各スロット部(2ヶ所)の前後の段違いが、 $B \leq 0.3$ であること。	
			×	$B > 0.3$	
4		工具によって変形のないこと。	○	工具による干渉疵によって上記1, 2及び3項の変形がない。	
			×	工具による干渉疵によって上記1, 2及び3項の変形がある。	
5	被覆の位置ずれ 	被覆の位置ずれがないこと。	○	圧接コンタクトに対する被覆の位置ずれは、 $C \leq 0.3$ であること。	
			×	$C > 0.3$	

分類： 取付適用仕様書

標準の名称： アンプウルトレックス2.5及び
2.54シリーズ圧接コネクタの結線条件標準のコード：
114-5078改訂
C 5頁
5頁中